



小学校の適正配置(統廃合)に関するお知らせ

谷原小学校区における意見交換会開催概要(平成29年1月24日)

- 市民** 谷原小学校、十和小学校、福岡小学校の統合で、何故、谷原小学校に統合されるのか。
- 市** 学校の大きさや教室数などの学校規模の他、小中学校における一貫教育などの教育プログラムの効率性を勘案した中で統合校を検討した。
- 市民** みらい平地区に新しい中学校を建設する計画はどのような状況か。
- 市** 現在、(仮称)富士見ヶ丘小学校の通学区域について話し合いを行う学区審議会においてみらい平地区の中学校区域を検討しているところであり、現時点では、既存の伊奈中・谷和原中の2中学校に通学することを前提に、みらい平地区内の学区の線引きを検討している。なお、新たな中学校については、適正配置基本計画にある通り「土地利用計画により中学校用地が確保されていることから引き続き検討していく。」こととなっている。
- 市民** 学区審議会のメンバーに、谷原小学校と十和小学校の関係者が入っていないのは、おかしいと思う。既存の伊奈中・谷和原中への通学路の安全性など関係する内容があると思う。
- 市** 学区審議会は、みらい平地区の学区をどうするかを話し合う場として、みらい平地区のPTAの方や地区委員などを中心に20名という枠組みの中で委員構成を考えた。事前に頂いた通学路に関するご意見は、学区審議会等でご報告をし、隣接する地区への安全には配慮する必要があるという意見を頂いている。
- 市民** 統廃合に向けての枠組み作りはいつから進めていくのか。
- 市** 統廃合の2年くらい前から、小学校区別の意見交換会を行う。次に、統廃合検討委員会、統合準備委員会と進めていく。



陽光台小学校区における意見交換会開催概要(平成29年1月26日)

- 市民** (仮称)富士見ヶ丘小学校と陽光台小学校の学区はどこでわかれるのか。いつ決まるのか。
- 市** 学区審議会において話し合いを進めている状況であるが、「陽光台小学校区は、陽光台1~4丁目、紫峰ヶ丘1・4・5丁目」「(仮称)富士見ヶ丘小学校区は、富士見ヶ丘1~4丁目、紫峰ヶ丘2・3丁目」を基本として検討している。3月末には結論を出して学区を公表する予定である。
- 市民** (仮称)富士見ヶ丘小学校を建てた後に、教室数が足りなくなった場合はどうするのか。
- 市** 増築等に対応していくことになる。
- 市民** 新たな中学校ができるのか。中学校の区割りは変わるのか。
- 市** 現状ではつくる予定はないが、つくりたくないとも言えない状況。学区審議会では、中学校区も小学校区と同じ区割りとしている。
- 市民** 通学環境について情報をしっかり出してほしい。話が見えないから、皆、右往左往する。
- 市** 情報はできるだけ出していきたい。通学路の安全プログラムで危険箇所の洗い出しなど行ってきた。来年度以降、中学校の新たな通学路も入れていけると考えている。
- 市民** みらい平地区の児童は、みらい平地区の中だけで固まっている気がする。統合される学校で育まれてきた風土や歴史が無くなるのは惜しい。それらに触れる機会や接点があっても良いと思う。
- 市** みらい平地区・既存地区の交流が大切だと考えている。住民の方々も巻き込み、交流する機会を増やすなどして、地区で育まれてきた歴史や風土を大切にしていきたいと思う。



お忙しい中、意見交換会にご参加下さり、誠にありがとうございました。いただきましたご意見やご提案を踏まえ、“みらい”を担う大切な子どもたちの教育環境を第一に考えながら、保護者や地域の皆様といっしょに今後も話し合いを続けて参りたいと考えています。